

國民所得と アメリカ新豫算

アメリカ新豫算の赤字對策は今千五百萬ドル、來年度即ち一九三三年度の最大重要問題であり、一般三三四年度の不足は八億四千四百萬ドルである。これは減債基金繰入を含んであるので、これを除外すれば現會計年度の不足は十一億四千六百萬ドル、來年度の不足は三億七百萬ドルになる。

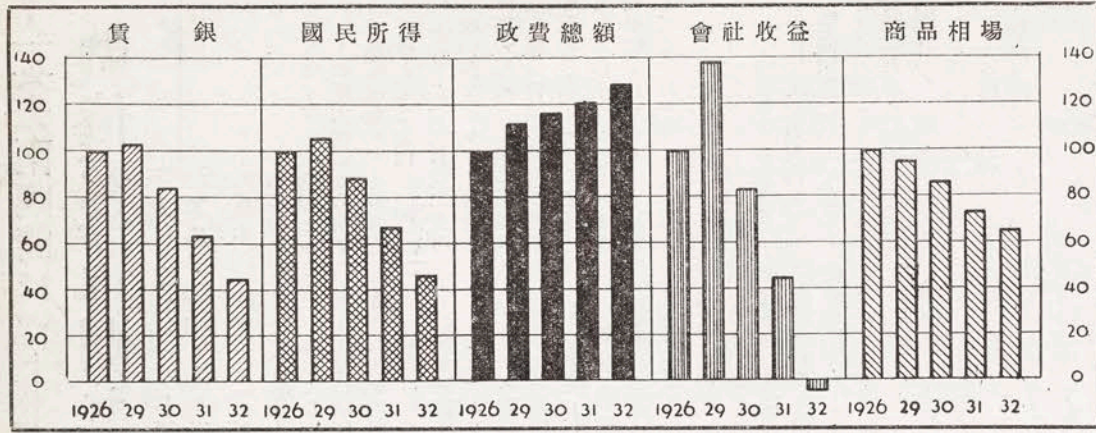
赤字補填策

フーヴァー大統領が昨年十二月七日議會に送つた豫算教書によれば、現會計年度の不足は十六億四

豫算總額

大統領が議會に送つた一九三三—三四年度の豫算總額は下表のとく四十二億一千九百萬ドルで、現會計年度より五億八千二百萬ドルの減少である。主なる節約額は左の通りである。

政費と國民所得 (1926年を100とす)



單位百萬ドル	1913年	1926年	1927年	1928年	1929年	1930年	1931年	1932年(見積)
銀貨指數	—	100	97.8	97.6	103.1	83.8	63.3	44.5
國民所得	33,393	80,284	82,921	84,119	85,200	71,000	54,000	37,500
中央及各州政費	2,919	11,616	12,179	12,609	13,048	13,541	14,000	15,000
會社(163)收益	—	1,036	994	1,229	1,435	861	460	-51
物價指數	69.8	100	95.4	96.7	95.3	86.4	73.0	65.4

歳出入

アメリカでは豫算の外にその年度の歳出入見積を發表してゐる。それは前年度の豫算に計上されたもので現年度で清算されたものもあり、現年度の豫算に計上されるものもあるからである。

所得税と戦債

歳入の内訳において特記すべきは所得税収入の増加が見積つてあること、戦債収入が計上されてゐることである。

アメリカの新豫算

(單位千ドル)	1933—34年豫算	32—33年豫算	節減額(+増加)
府廳省	17,558	18,822	1,264
官廳省	45,772	84,893	39,121
立法省	931,078	1,020,464	89,386
行政省	115,883	317,883	201,999
農務省	36,409	44,784	8,375
商務省	56,595	81,325	24,731
海軍省	43,422	45,996	2,574
陸軍省	12,794	12,925	131
海軍省	308,696	328,906	20,211
海軍省	694,508	806,105	111,596
海軍省	12,505	13,695	1,189
海軍省	284,898	375,028	90,129
海軍省	360,975	468,605	107,628
海軍省	38,644	44,498	5,854
海軍省	534,070	496,803	+ 37,267
海軍省	725,000	640,000	+ 85,000
海軍省	4,218,808	4,800,732	581,924

國民所得と豫算

この點に關聯して面白いことは近年アメリカの會社の所得、貨銀國民所得等が激減し、物價が暴落せるにも拘らず、豫算のみは年々膨張して來たことである。

武器禁輸案

米國上院通過

大統領が議會に送つた武器禁輸案を賦與する上院外交委員長ウィリアム・ボラー氏提出の決議案を可決した。右案は直に下院に廻付された。

國際經濟日誌

15日 日曜日
21日 土曜日

海外

二月十六日(月) アメリカのセントルイスにおいて八銀行が支拂を停止した。
二月十七日(火) ロイド造船統計發表、昨年末の世界建造中トシ数は一昨年比し四割五分の減少を示してゐるが日本は獨り一萬トシ増加してゐる。
二月二十日(金) アメリカ大統領フーヴァー氏と次期大統領ルーズヴェルト氏と會談の結果新政府は三月初旬イギリス代表を迎へ戦債問題について會商することに方針決定。
二月二十一日(土) 預金部運用委員會開催、八千四百三十三萬圓の運用計畫を原案通り可決。
二月二十日(金) 染料關稅撤廢期成同盟會は染料關稅改正について商工、大藏兩省へ陳情。
二月二十日(金) 中甸入超額三千六百六十萬圓と近年見ざる巨額を示す。

内地

二月十六日(月) 農林省發表の昨年度瀾額は一昨年比し數量において七分八厘を減じたが價額は七分七厘増を示す。
二月十七日(火) 深井日銀總裁は物價の急激なる昂騰を阻止するため適宜の手段を講ずる必要ありと語つた。
二月十八日(水) 預金部運用委員會開催、八千四百三十三萬圓の運用計畫を原案通り可決。
二月十九日(木) 染料關稅撤廢期成同盟會は染料關稅改正について商工、大藏兩省へ陳情。
二月二十日(金) 中甸入超額三千六百六十萬圓と近年見ざる巨額を示す。

英米兩國間に 戰債交渉再開せん

フーヴァー、ルーズヴ エルト両氏會商を遂ぐ

ワシントン一月十九日(木)
二十日ホワイト・ハウスにおいて行はれるフーヴァー大統領とルーズヴェルト次期大統領との會見はアメリカ政府今後の外交政策を決定するものとして全世界注視の的となつてゐるが十九日夜に至りイギリス政府がアメリカに提議した戦債問題の即時再審議の問題及び世界通貨經濟會議の問題が明日の會見の重要主題の一となるものと傳へられるに至つた。右イギリス政府の提議ではフーヴァー現政府に對してなされたものであるがルーズヴェルト氏の側近者より確信するにルーズヴェルト氏は戦債問題と世界經濟會議とを相牽連せしめることは反對の意向を抱いて居り、戦債問題に關して何等かの處置がとられるとしても、それは經濟會議における國際經濟問題と戦債問題との間に何等の牽連も附しないとの諒解がルーズヴェルト氏とイギリス政府との間に成立した上で初めて實現されるものとみられる。

兩巨頭會商

ワシントン一月二十日(金)
本日ホワイト・ハウスにおいて行はれたフーヴァー大統領とルーズヴェルト次期大統領との會見にはスチムソン國務長官、財務長官オグデン・ミルズ氏、ノーマン・デービス氏、レイモンド・モーリー教授の四氏も出席した。

聲明書發表

會見後發表された聲明書に曰く「本日の會見においては主として外國の情勢を検討審議した。而してイギリス政府が戦債問題の審議を要請し、且つ戦債問題に關する英米兩國間の審議が不當に遅延すべからざるものあるに鑑み、新政府は三月初旬右の目的のためにイギリス政府代表を迎へ欣然會商を開始するに決した。しかしながら同時に英米兩國が相互に利害關係ある世界經濟問題を審議する必要がある故、世界的情勢を改善する手段方法を審議するものとする。而してスチムソン國務長官に對しイギリス政府との間に右會商準備のため即時交渉を開始することを委嘱した。」

最後の支拂なることを言明して居り、從つて英米兩國間の戦債交渉は實際上にも遷延し得ない理由が存するのである。當局においては世界經濟問題に關するイギリス政府との意見交換は世界經濟會議の開催を促進するものと特に言明してゐる。

五五労働制

ワシントン一月十八日(水)
アメリカ労働總同盟會長ウイリアム・グリフィン氏は本日本下院の労働委員會において委員長ウイリアム・コナリー氏から提出された五日六時間労働制を施行するため、右の労働時間制度によらずして生産された物資の積荷をアメリカ各州間の取引並に外國貿易上禁止するとの案を支持して左のごとく述べた。

個別的解決策

右聲明書において戦債問題に付き同一の立場にあるフランスに全く然言及してゐないのはアメリカ政府が戦債問題に關するヨーロッパ諸債務國、殊に英佛兩國の共同戦線を打破し、自國に有利な個別的交渉を遂げんとする意圖に出でたものであると同時にフランスが下の支拂分を履行せざるに反し、イギリスが支拂を完了してゐる事實がアメリカ朝野に好感を以て迎へられてゐる結果とみられる。殊にイギリスは十二月十五日の支拂を履行するに當りこれを以て現行戦債協定の下において履行せらるべき

比島獨立法案成立

アメリカ議會を再通過

ワシントン一月十七日(火)
フーヴァー大統領の拒否に遭つたフィリピン獨立法案は過日アメリカ下院において再び可決されたが、十七日上院も大統領の拒否を一蹴し、六六對二六票、即ち法案成立に必要な三分の二の票數を超過する五票の壓倒的多數を以てこれを再可決した。かくて愈々フィリピンの獨立は十ヶ年の準備期間を以て許容されることとなつた。因に獨立法案の要旨は左の如くである。

比島獨立の利益

フィリピン獨立の運動は既にフィリピン以前に遡り民族的自覺の米西戰爭以前に遡り民族的自覺の...

米佛獨支

年	輸出	輸入	出超
三二年	二、四四〇	二、〇九〇	三、三五五
三一年	一、六七〇	一、三三三	二、九三五
三〇年	一、三三三	一、〇〇〇	二、九三五

獨立運動經過

フィリピン群島は一五二一年最初の世界週航者マゼランによつて發見され、一五四二年當時世界最強國たりしスペインの領土となつた。而も時移つてスペインの國力は昔のごとくならず一八九八年の米西戰爭に敗れ、フィリピン群島はパリ條約によつてアメリカの治下に移されるに至つた。爾來三十五年、十六世紀以來獨立の何たるかを知らなかつた南洋の島に於て獨立の日が来ようとしてゐるのである。

砂糖業者の運動

現在アメリカとフィリピンとの間には相互に無税の輸出入が行はれてゐる。若し今獨立の空名と交換にこれら基礎産業に例の高率關稅を賦課せられることとなればフィリピン産業の全滅は火をみるよりも明かであり、フィリピン島人の經濟的破滅を意味する。フィリピン議會が今回の獨立法案に難色を示してゐるのは蓋し當然ではなからうか。

支那

年	輸出	輸入	出超
三二年	四、五〇〇	三、六〇〇	九、〇〇〇
三一年	三、六〇〇	二、七〇〇	九、〇〇〇
三〇年	二、七〇〇	一、八〇〇	九、〇〇〇

比島の打撃
さればこそフィリピンにおいては今や却つて獨立法案拒否の氣運が濃厚となつてゐるのである。それは何故であるか。フィリピン産業はその殆ど總てを擧げてアメリカ市場の需要に應ずべく砂糖と椰子油と麻とに向けられてゐるのである。若し今獨立の空名と交換にこれら基礎産業に例の高率關稅を賦課せられることとなればフィリピン産業の全滅は火をみるよりも明かであり、フィリピン島人の經濟的破滅を意味する。フィリピン議會が今回の獨立法案に難色を示してゐるのは蓋し當然ではなからうか。

滿鐵附屬地 課稅問題協議

新東京一月十七日(火)
舊東北軍閥と日本との間に紛糾の因をなした商埠地及び滿鐵附屬地課稅問題は日滿兩國當局間に於いて協議が行はれつつあつたが、近く商租權問題の解決の具體案が作成されることとなつた。かくて長年の懸案は愈々圓滿解決の運びとなつた。

貿易額

年	輸出	輸入	出超
三二年	三、〇〇〇	二、〇〇〇	一、〇〇〇
三一年	二、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
三〇年	一、〇〇〇	〇、〇〇〇	一、〇〇〇

世界經濟會議準備委員會

報告書の要旨

金本位停止國通貨の要旨

ジュネーヴ一月十九日(木)
去る九日よりジュネーヴに開會
中の世界通貨會議第二次準備
專門家委員會は十九日その報告
書を可決した。右報告書の要旨は
左の通りである。

一、世界の經濟的回復には左記を
必要とする。
(イ) 國際間における正常的の商
品交換の再建。
(ロ) 緊急的貿易制限の漸進的
緩和及び可及的早期の撤廢。

英・米・佛
生活費

イギリス
ロンドン一月十九日(木)
イギリス労働省調査、本年一月
一日現在のイギリス生活費指數は
一四二で昨年十二月一日現在に比
し一ポイント方低落した。

アメリカ

ニューヨーク一月十九日(木)
アメリカ産業審議會議調査、十二
月十五日現在のアメリカ生活費指
數は七五・一で前月十五日現在に
比し〇・五ポイント低下した。

英波石油問題

聯盟理事會對する
ベルン政府の回答
ジュネーヴ一月廿一日(土)
アングロ・ベルン石油會社利
權取消問題に關する十二月十九
日イギリス政府が理事會に提出し
た覺書に對しベルン政府は本日
左のごとき回答を發表した。

日・英・米・獨・佛
最近の生活費指數

Table with columns for countries (Japan, UK, USA, Germany, France) and months (July 1924 to Jan 1932). Rows show index values for each month.

調査發表主體は次の如くである。△日本=13都市分
は朝日新聞社、東京は日本銀行。△イギリス=同國
労働省。△アメリカ=全米産業審議會議。△ドイツ=ド
イツ聯邦統計局。△フランス=フランス一般統計局。
▲基準は各國共1914年7月を100とし、調査項目は食
料・衣服・家賃・燃料・照明其他である。

世界を靡せる
本邦人絹製品

昨年度のわが
人絹及び人絹製
品の國別輸出高
が一月十七日人
絹聯合會から發
表されたが、こ
れでみるとわが
製品の異常なる
進出の跡が窺へ
る。

Table showing export values for various countries (India, China, etc.) in thousands of yen, comparing current year and previous year.

サウエート
共營農場の
失敗理由

モスクワ一月十六日(月)
共産黨書記長ヨシフ・スターリ
ン氏は農村問題に付き第二回の報
告演説をなし、共營農場が所期の
結果を挙げ得なかつた理由を指摘
した。右演説の要旨は左の通りで
ある。

れよりも遙に良好であつた事實
に徴し、凶作を以てこれが辨明
とするには出来ない。一九三
二年度におけるサウエート聯邦
の穀物收穫高は過去數年會つて
みなかつたものであつた。故に
この矛盾は以下五項の理由によ
つてのみこれを説明することが
出来るのである。

二、共營農場は管理當局がよくそ
の經營に當らねばならぬのであ
るが地方における同志はこの點
を理解せず、個人農が主位を占
めてゐた當時におけると同様、
單に個々に對する助力、助言、
警告を行ふ程度に止まつたこと
三、新企業形態としての共營農場
に對する過大評價の結果、農村
地方における事業が豫定に達し
なかつたこと。

目覚しき増加
昨年中の人絹糸、人絹羽二重及
び其他人絹布の總輸出價格は六千
六百萬圓で、一昨年の五千三百萬
圓、一昨々年の四千百萬圓に比
べると非常な進出振りである。

主要輸出先
このわが製品の著しい進出に對
輸入總額
一九三一年 三、七三三
一九三二年 三、七三三
一九三三年 三、七三三
合計 一一、二〇〇

海關收入減少
上海一月十八日(水)
財政部長宋子文氏の發表によれ
ば昨年の支那海關收入は左のごと
く二億餘圓である。これは一昨
年より四千六百萬圓の減少によ
る。尤も滿洲國の海關接收によ
り、この數字中には昨年六月以降
の滿洲國諸港の關稅收入は含まれ
てゐない。

昨年の支那
輸入總額
一九三一年 三、七三三
一九三二年 三、七三三
一九三三年 三、七三三
合計 一一、二〇〇

昭和八年一月十五日(廿一日發售)

株式

株式市況

ニユーヨーク 一月十七日(火)
加入電話激減 本日のニユーヨーク株式市場は昨日軟調の後に...

リタイ 産業界へ 政府融資

ローマ一月廿一日(土)
イタリア政府はイタリア産業の技術的並に経済的復興を期し、思切つた國家的援助を産業に提供...

満洲で活躍

新東京一月十六日(月)
治安を回復せる満洲國の豊富な資源の開発を目指して進出する...

市場の軟材料

ニユーヨーク一月三十日(金)

今週のニユーヨーク株式市場は取引極めて閑散、時々賣物が出たが安値には又相當の買支へも現は...

ロンドン 爲替市況

ロンドン一月十九日(木)
市況は初め頗る手堅かつたが、その後ポンド爲替はアメリカ筋の賣物に押されて下落した。支那及び日本爲替は閑散ながら手堅い。

銀塊

ロンドン一月十八日(水)
今週の銀塊市況に關しサミュエル・モンタギュー商會週報は左のごとく報じてゐる。

金融

ロンドン 金融市況

ロンドン一月十九日(木)
納税關係から今週は可成りの需要が出たが、資金を手に入れることは困難でなく、市況は依然として引地み状態を續けてゐる。

地方銀行休業

ニユーヨーク一月十六日(月)
セントルイスにおいて本日八つの銀行が支拂を停止した。これら過去十二日間に同市附近で十六の小銀行が店を閉めたことになる。

金銀塊輸出入額

ロンドン一月二十日(金)
今週のロンドン銀塊市況に關しモーター・ゴールドスミス商會は左のごとく報じてゐる。

上海の銀行が 手形交換開始

上海一月十一日(水)

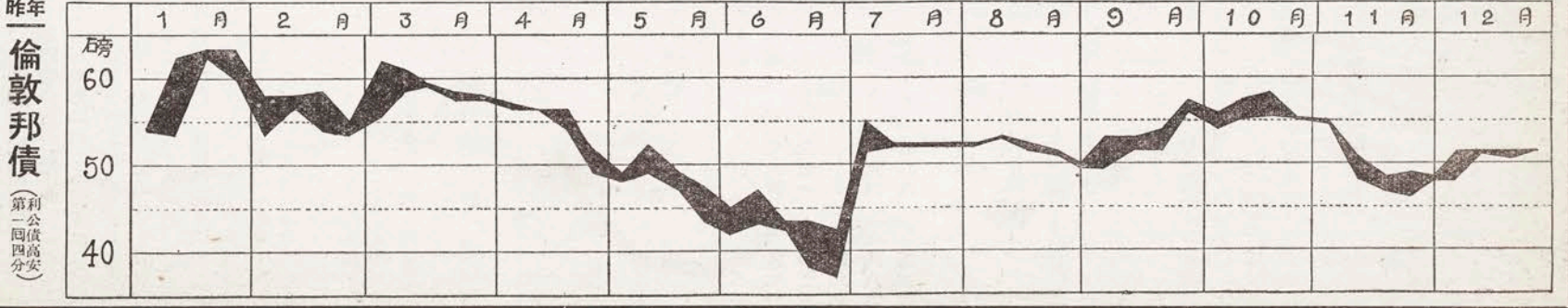
豫て準備進捗中であつた支那新式銀行間における手形交換は愈々本月十日より上海の銀行公會において開始された。不馴れのため當...

ロンドン 正貨積出高

ロンドン一月二十日(金)
△汽船Comor社積出 上海へ 銀塊 一九一〇〇磅

金銀塊輸出入額

ロンドン一月十九日(木)
ワシントン一月十九日(木)
アメリカ商務省發表、昨年十二月のアメリカ金銀塊輸出入額は左の通りである。(單位千ドル)



倫敦邦債 (第一回四分)

ロンドン 砂糖市況

△粗糖 取引は少量に過ぎなかつた。精製糖會社は實需皆無のため目下始と買氣を示してゐない。
△精製糖 取引不振。イギリス精製糖會社は賣り値を國內三ペンス方又輸出向けを六ペンス方それぞれ引下げた。
△定期粗糖 不安定。相場は主としてアメリカに連れて動いてゐた。尤もその後市況若干見直し、週末引際の相場は稍や引締つてゐたがそれでも未だ前週に比して四分ノ一ペンス乃至四分ノ三ペンス方安い。

これは殆ど全部加盟外工場品の内密商内であつて一九三二—三三年糖である。

▲對印輸出相場▼

スラバヤ一月十九日(木)
蘭印砂糖販賣組合は白双の輸出相場を五盾七五と發表した。但しカルカッタ向に對しては十五セント、ボンベイ、カラチ、コロンボ向けに對しては六十二セント半の割戻しをなすことになつた。
因に去る一月三日に發表した最初の輸出相場は同じく五盾七五であつたが、カラチ、コロンボ向けに對して五十セントの割戻しをなしてゐるに過ぎなかつた。

ジャワ糖賣約

スラバヤ一月十八日(水)
蘭印砂糖販賣組合は昨日一、二月渡白双一萬八千トンを追加賣約したが、探知するところによると

一九三二—三三年産
スラバヤ一月十六日(月)
昨年五月より十二月までのジャワ糖荷動統計は左の通りである。
(單位メートル・トン)
輸出港 二、〇九五〇、二、八五五、五七

シカゴ小麥市況

市況は氣迷ひ、輸送中の小麥が大量に上るとカナダ爲替相場不安定とは懸材料となつてゐる。ロシアが大量のカナダ小麥購入の交渉中だとの噂が傳はり相當の空賣り買理めを誘發した。尤もこの噂は後刻虚報の旨否認された。しかし一方外國筋がウイニベグで大量買つてゐるとの報道は強材料となつてゐた。冬小麥産地に砂塵を混えた暴風あり、極度に乾燥してゐるとの入報も好感を興へたが、しかし週末相場が上向くと賣物が増大してゐた。

大部分の生産國における相場は現在生産費を割つて居り、一方アメリカにおける冬小麥は減收を豫想されてゐるので世界の供給過剩の現状は本年度は大に緩和される見込みである。これがため一部觀測家は世界の小麥市況は近く根本的の變化あるべしと確信してゐる。他方當業者のあるものは政府がインフレ政策をとればアメリカと外國との間の相場の開きはなくなり大量の輸出を促進するに至るべし

カルカタ 香港
石炭 六、〇〇〇
二月積 五留比四分一

ロンドン一月十七日(火)
本日發表されたロイド造船統計によれば昨年末の各國建造中船舶トンは左のごとくで一昨年末及び昨年九月末に比し(日本を除き)著減を示してゐる。

ロンドン一月十七日(火)
助無電に接しラヂオオストツク港當局は十五日ロブリア・ニキチツク號及びスウェル・ドロウスクみの上現場に向ふ豫定である。

サウエイト
モスクワ一月廿一日(土)
穀物集積成績
從來穀物集積計畫の遂行を甚しく遅延せしめサウエイト聯邦の農業政策に大蹶を生ぜしめてゐた「ロシアの穀倉」北部コーカサス及びヴォルガ南部地方は聯邦政府及び穀農場に働くクラーク(富農)氏が、共產黨中央委員會書記長ヨシフ・スターリン氏署名の下に「共二月二十日を以て同地方の穀物集積計畫を完全に遂行した。」

ゴム

ゴム市況

ロンドン一月二十日(金)
今週のロンドン・ゴム市場は週初めアメリカのゴム消費統計が思はしからず思惑筋から多量の手仕舞物が現はれ、その上極東筋からも多量の賣物が出て市況は軟調を呈した。一方イギリス及びヨーロッパの實需筋から相當根強い買物があつたが、これ以外には需要は乏しかつた。その後アメリカ筋が何ヶ月振りに買付け、これに連れ他の方面からも買物が出たので市場は一段と活氣を呈して來た。

荷並に海峽植民地、シンガポール、ペナンの大農園在荷は四萬二千二百二十トンである。
△備考(單位トン)
一昨年十二月末 在荷高 五、八〇〇
昨年一月末 在荷高 五、三六六
二月末 在荷高 五、三六六
三月末 在荷高 五、三六六
四月末 在荷高 五、三六六
五月末 在荷高 五、三六六
六月末 在荷高 五、三六六
七月末 在荷高 五、三六六
八月末 在荷高 五、三六六
九月末 在荷高 五、三六六
十月末 在荷高 五、三六六
十一月末 在荷高 五、三六六
十二月末 在荷高 五、三六六

ロザリ アントワープ、
オ下流 ロッテルダム
雑穀 八、五〇〇
二月積 一七志
バビヤブランカ 同上
雑穀 六、〇〇〇
一月積 一七志二分一
サンロレンゾ イギリス、歐大陸
雑穀 六、〇〇〇
二月下旬積 一七志二分一
大連 ロッテルダム、ハンブルグ
大豆 八、〇〇〇
二月積 一七志二分一
西貢 歐大陸二港
米 七、〇〇〇
二月下旬積 一七志二分一
ケイプタウン ロッテルダム
玉蜀黍 七、〇〇〇
同及三月初積 一七志
サントドミンゴ ボルネー
砂糖 三、〇〇〇
一月積 四志四分三

ロンドン一月十七日(火)
サガレン沖合で火災を起したサウエイト汽船サガレン號よりの救助に碎氷船急航

ロンドン一月十七日(火)
サガレン沖合で火災を起したサウエイト汽船サガレン號よりの救助に碎氷船急航

ロンドン一月十七日(火)
サガレン沖合で火災を起したサウエイト汽船サガレン號よりの救助に碎氷船急航

造船統計發表

(單位トン)
昨年末 一昨年末
世界合計 七五、七〇〇 一、四三、七九五
内イギリス 三三、四九七 四〇、〇五五
フランス 一〇、一七五 一四、四四〇
ドイツ 八、〇〇一 一〇、九八八
日本 六、三三三 五、八八〇
アメリカ 五、九六六 一七、〇七三
イタリヤ 五、九二二 一六、六六七
オランダ 三、九四九 三、八六六

▲船舶種類別建造トン數
發動機船 三三、七九七
汽船及帆船 三三、七九七
計 七五、七〇〇
内オイルタンカー 一九、四四九
ウラヂオストツク 六、〇〇三

▲船舶種類別建造トン數
發動機船 三三、七九七
汽船及帆船 三三、七九七
計 七五、七〇〇
内オイルタンカー 一九、四四九
ウラヂオストツク 六、〇〇三

▲船舶種類別建造トン數
發動機船 三三、七九七
汽船及帆船 三三、七九七
計 七五、七〇〇
内オイルタンカー 一九、四四九
ウラヂオストツク 六、〇〇三

▲船舶種類別建造トン數
發動機船 三三、七九七
汽船及帆船 三三、七九七
計 七五、七〇〇
内オイルタンカー 一九、四四九
ウラヂオストツク 六、〇〇三

▲船舶種類別建造トン數
發動機船 三三、七九七
汽船及帆船 三三、七九七
計 七五、七〇〇
内オイルタンカー 一九、四四九
ウラヂオストツク 六、〇〇三

マレイ十二月末

シンガポール一月廿一日(土)
十二月末におけるマレイ聯邦ジョホール州、ペリス州、ケランタン州ゴム商人手持ち、大農園在

シンガポール一月廿一日(土)
十二月末におけるマレイ聯邦ジョホール州、ペリス州、ケランタン州ゴム商人手持ち、大農園在

シンガポール一月廿一日(土)
十二月末におけるマレイ聯邦ジョホール州、ペリス州、ケランタン州ゴム商人手持ち、大農園在

シンガポール一月廿一日(土)
十二月末におけるマレイ聯邦ジョホール州、ペリス州、ケランタン州ゴム商人手持ち、大農園在

シンガポール一月廿一日(土)
十二月末におけるマレイ聯邦ジョホール州、ペリス州、ケランタン州ゴム商人手持ち、大農園在

シンガポール一月廿一日(土)
十二月末におけるマレイ聯邦ジョホール州、ペリス州、ケランタン州ゴム商人手持ち、大農園在

船運市況

ロンドン一月十七日(火)
今週は特にリヴァプール向け

ロンドン一月十七日(火)
今週は特にリヴァプール向け

ロンドン一月十七日(火)
今週は特にリヴァプール向け

ロンドン一月十七日(火)
今週は特にリヴァプール向け

ロンドン一月十七日(火)
今週は特にリヴァプール向け

ロンドン一月十七日(火)
今週は特にリヴァプール向け

シカゴ小麥

シカゴ小麥市況

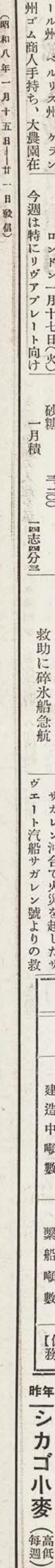
シカゴ小麥市況

シカゴ小麥市況

シカゴ小麥市況

シカゴ小麥市況

シカゴ小麥市況



建造中噸數	世界合計							日本
	イギリス	アメリカ	ドイツ	フランス	イタリヤ	オランダ	ブラジル	
1927年末	3,119	1,580	97	472	115	183	175	69
1928年末	2,618	1,243	48	382	162	93	182	119
1929年末	3,111	1,560	179	253	167	78	232	184
1930年末	2,326	909	232	213	174	180	160	86
1931年末	1,404	401	208	104	161	179	68	53
32年9月末	901	238	125	81	109	128	40	46
1932年末	766	225	60	80	102	59	39	63
繋船噸數	4,407	539	2,978	—	80	276	16	85
1928年末	3,968	467	2,816	—	132	261	—	53
1929年末	3,218	521	2,006	8	91	180	4	90
1930年末	8,665	2,355	2,574	484	219	653	324	343
1931年末	11,392	2,919	3,031	760	566	807	595	352
32年7月末	14,115	3,470	3,211	1,375	983	863	595	352

【備考】建造中トン數はロイド、繋船トン數は昨年末迄はアメリカ商務省報告、昨年はイギリス海運集會所發表による (單位千トン)

輸入激增傾向

中旬入超三千百萬圓

一月中旬貿易は差引入超三千百萬圓、油粕等非常に増加し十二月中旬の毎旬平均三千四百萬圓に比し今旬は四千六百萬圓と異常な輸入増を示してゐる。かくのごとき趨勢が今後如何なる變化をみせるかを考察するに生糸の輸出減は今のとこに反し輸入が最も盛期に入つて棉花その他雜品輸入が著増した結果である。即ち生糸は上旬僅に一千四百五十萬圓に過ぎず、中旬も七千九百萬圓に過ぎず、下旬一萬七百萬圓以上の輸出を常態とする際今旬の成績は非常な減少といふべきである。綿織物輸出は比較的順調であるが大した増加をみせて居らず、雜品輸出のごときも昨秋來の増加傾向は一般の形で昨年十二月中旬の旬平均二千三百萬圓に比し今旬は二千萬圓をこそことなつてゐる。

一方輸入の方は棉花が季節的増加を本格的に示したのを初めとして小麦、豆粕、羊毛、機械類、木

東株科學

一月第三週

昨年末の熱狂氣分も漸く落付き相場は波瀾含みながらやや平穩を示した。

議會の再開を控へ一方聯盟の成行き觀察等のためであるが兎に角大動きを演じた揚句であるからこの邊りはなくとも一巡玉整理があつて然るべきところであらう。

勿論平穩とはいつても新東のごときは大發會の二百二十九圓より旬日内外で百九十四圓まで三十五圓も崩れてゐるのであるから保合とはいひ難い。

伸縮み商狀

國際聯盟の空氣は前週末まで極めて樂觀され、相場の安値突込みとともに強氣筋は再度の活動に移らんとして休日明けは反

ても相當金額の入超を免れぬであらう。

大藏省發表、一月中旬の十六港貿易額は左の通りである。

港別	本年	昨年
輸出	三、八八三	三、五〇〇
輸入	七、四〇一	五、九一七
入超	三、五一八	二、四一七
輸出	三、五一八	二、四一七
輸入	七、四〇一	五、九一七
入超	三、五一八	二、四一七

▲重要商品別 (單位千圓、數量百斤)

品名	本年	昨年
生糸	七、九〇〇	七、〇〇〇
綿織物	二、〇〇〇	二、〇〇〇
絹織物	一、〇〇〇	一、〇〇〇
棉花	五、七〇〇	五、七〇〇

▲港別 (單位千圓、△印出超) (△備考)

港別	輸出	輸入	入超
横濱	九、八〇〇	五、九〇〇	六、〇〇〇
神戸	四、七五〇	三、七〇〇	九、〇〇〇
大阪	二、〇〇〇	一、〇〇〇	三、〇〇〇
名古屋	一、〇〇〇	一、〇〇〇	〇
東京	一、〇〇〇	一、〇〇〇	〇

▲小賣物價指數

月	指數
一月	一〇〇
二月	一〇一
三月	一〇二
四月	一〇三
五月	一〇四
六月	一〇五
七月	一〇六
八月	一〇七
九月	一〇八
十月	一〇九
十一月	一一〇
十二月	一一一

▲米需給豫想

農林省發表の昭和七年度米實收は六千三百九十九萬石となつてゐるが、これを基礎として七年十一月一日より八年十月末日までの本米需給を推算すれば、左のごとくで次年度への理想持越高五百萬石を差引き三百三十萬石の供給過剰となる。

農林省發表 昨年度米實收高

(單位千石、*印減少)

地方別	收穫高	前年比較
總數	60,390	5,174
北海道	881	203
青森	1,035	371
岩手	1,106	117
秋田	1,811	127
山形	1,877	107
福島	2,011	127
茨城	1,775	67
栃木	2,037	109
群馬	1,549	163
埼玉	758	50
千葉	1,397	34
東京	2,127	137
神奈川	525	15
新潟	3,492	287
富山	1,473	70
石川	1,033	10
福井	974	50
山梨	402	6
長野	1,356	58
岐阜	1,262	30
愛知	1,302	81
三重	2,104	247
滋賀	1,436	211
京都	1,472	102
大阪	819	55
兵庫	1,095	123
奈良	2,852	325
和歌山	756	50
徳島	638	58
香川	698	73
愛媛	1,052	57
高松	1,873	367
岡山	1,414	211
広島	1,552	180
山口	596	129
島根	952	247
徳島	1,033	222
香川	591	68
愛媛	2,383	262
高松	1,214	116
岡山	610	66
広島	1,729	248
山口	1,178	100
島根	943	50
徳島	1,309	57
香川	97	29

收穫高及作付反別

年	作付反別	收穫高
昭和2年	千町	62,102
3年	千石	60,303
4年	千石	59,557
5年	千石	66,875
6年	千石	55,215
7年	千石	60,390

小賣物價指數

農林省調査、全國主要十三都市における十二月中の小賣物價指數總平均は左のごとくである。

月	指數
一月	一〇〇
二月	一〇一
三月	一〇二
四月	一〇三
五月	一〇四
六月	一〇五
七月	一〇六
八月	一〇七
九月	一〇八
十月	一〇九
十一月	一一〇
十二月	一一一

織布營業狀況

大日本紡績聯合會發表、十二月中の織布營業狀況は左の通り。

品名	數量	金額
粗布	20,000	3,346.0
綾布	1,313.0	4,766.0
天竺	412.0	799.0
生絹	4,102.0	10,838.0
小幡	4,368.0	4,593.0
綿織物	3,373.0	5,671.0
絹織物	8,214.0	20,982.5
生地	2,104.0	4,449.0
加工	2,725.0	4,866.0

日本銀行調査

日本銀行調査、一月分東京小賣物價指數は一四八・一である。

月	指數
一月	一四八・一
二月	一四八・一
三月	一四八・一
四月	一四八・一
五月	一四八・一
六月	一四八・一
七月	一四八・一
八月	一四八・一
九月	一四八・一
十月	一四八・一
十一月	一四八・一
十二月	一四八・一

農林省發表 昨年度收穫額

品名	數量	金額
穀類	2,065,628	54,189
豆類	166,872	3,134,330
薯類	77,976,009	2,514,923
其他	88,896,186	619,407
合計	89,539,088	7,533,867
前年比較	46,380,142	6,287,083
増減	43,158,946	1,246,284
金額	296,776,702	21,219,406
前年比較	111,896,040	42,937,290
増減	184,880,662	64,156,696

綿布生産高

大日本紡績聯合會調査、昨年十二月中の我が國綿布生産高は左のごとくである。(單位千ヤード)

品名	本年	昨年
粗布	20,000	3,346.0
綾布	1,313.0	4,766.0
天竺	412.0	799.0
生絹	4,102.0	10,838.0
小幡	4,368.0	4,593.0
綿織物	3,373.0	5,671.0
絹織物	8,214.0	20,982.5
生地	2,104.0	4,449.0
加工	2,725.0	4,866.0

綿糸布在荷高

(1月10日現在)

品名	東京		大阪		神戸		名古屋	
	本年	昨年	本年	昨年	本年	昨年	本年	昨年
40玉入	17.0	—	1,705.0	1,746.0	318.0	15.0	97.0	176.0
20玉入	5,510.0	1,901.5	7,734.5	3,994.0	—	—	2,270.5	1,787.0
チヌス	733.5	259.0	1,430.0	2,785.4	—	—	3,460.4	3,968.5
合	6,260.0	2,160.5	10,869.5	8,525.4	318.0	15.0	5,828.4	5,931.5
粗布	20.0	—	3,346.0	6,557.0	2,404.0	4,534.0	126.0	1,935.0
綾布	—	—	1,313.0	4,766.0	679.0	764.0	213.0	7,231.0
天竺	—	—	412.0	799.0	21.0	85.0	242.0	2,082.0
生絹	85.0	172.0	4,102.0	10,838.0	670.0	186.0	40.0	3,414.0
小幡	—	—	4,368.0	4,593.0	—	—	325.0	2,018.0
綿織物	516.0	245.0	3,373.0	5,671.0	259.0	167.0	239.0	75.0
絹織物	—	—	8,214.0	20,982.5	1,561.0	1,083.0	204.0	1,152.0
生地	2,104.0	4,449.0	21,985.0	28,321.0	1,393.0	1,350.0	99.0	5,451.0
加工	2,725.0	4,866.0	46,113.0	82,527.5	6,987.0	8,169.0	1,488.0	23,358.0

需要

一人當消費を二石七升、内地人口を八年四月末の推定で六千六百七十萬七千人とす)

月	消費
一月	七、〇〇〇
二月	七、〇〇〇
三月	七、〇〇〇
四月	七、〇〇〇
五月	七、〇〇〇
六月	七、〇〇〇
七月	七、〇〇〇
八月	七、〇〇〇
九月	七、〇〇〇
十月	七、〇〇〇
十一月	七、〇〇〇
十二月	七、〇〇〇

綿布輸出高

大日本紡績聯合會調査、一月上の綿布輸出額は左の通りである

品名	本年	昨年
粗布	20,000	3,346.0
綾布	1,313.0	4,766.0
天竺	412.0	799.0
生絹	4,102.0	10,838.0
小幡	4,368.0	4,593.0
綿織物	3,373.0	5,671.0
絹織物	8,214.0	20,982.5
生地	2,104.0	4,449.0
加工	2,725.0	4,866.0

東京株式長期清算取引相場

(後單場位・大引錢)

Table with columns for shipping (郵船), new (新), and other categories, listing prices for various dates from 1月16日 to 21日.

Table with columns for various commodities like silk (鐘紡新), cotton (日清紡), and others, listing prices for various dates.

Table with columns for commodities like sugar (大日製糖), alcohol (麥酒), and others, listing prices for various dates.

Table with columns for commodities like sugar (臺灣製糖), alcohol (新高製糖), and others, listing prices for various dates.

Table with columns for commodities like sugar (沖繩製糖), alcohol (大連信新), and others, listing prices for various dates.

Table with columns for various commodities including sugar, alcohol, and others, listing prices for various dates.

Table with columns for various commodities including sugar, alcohol, and others, listing prices for various dates.

Table with columns for various commodities including sugar, alcohol, and others, listing prices for various dates.

Table with columns for various commodities including sugar, alcohol, and others, listing prices for various dates.

Table with columns for various commodities including sugar, alcohol, and others, listing prices for various dates.

金物相場 table with columns for metal types (銅, 鉛, 亜鉛), dates (1月16日 to 21日), and prices. Includes a section for 'ニューヨーク' (New York) prices.

金物相場 table with columns for metal types (鉄, 鋼, 銅), dates (1月16日 to 21日), and prices. Includes a section for 'ロンドン' (London) prices.

棉相場 table with columns for cotton grades (1月限 to 12月限), dates (1月16日 to 21日), and prices. Includes a section for 'アレキサンドリヤ' (Alexandria).

花相場 table with columns for flower types (リヴァプール, ポンベイ), dates (1月16日 to 21日), and prices. Includes a section for 'プローチ' (Proche).

大阪綿糸 table with columns for cotton grades (1月限 to 7月限), dates (1月16日 to 21日), and prices. Includes a section for '大阪綿糸' (Osaka Cotton Yarn).

綿糸布相場 table with columns for cotton grades (1月限 to 7月限), dates (1月16日 to 21日), and prices. Includes a section for '東京綿糸' (Tokyo Cotton Yarn).

生糸 table with columns for silk grades (1月限 to 8月限), dates (1月16日 to 21日), and prices. Includes a section for '生糸' (Raw Silk).

糸相場 table with columns for silk grades (1月限 to 6月限), dates (1月16日 to 21日), and prices. Includes a section for '市現物相場' (Market Current Goods Market).

場 table with columns for market types (ロンドン, 巨海), dates (1月16日 to 21日), and prices. Includes a section for '巨海' (Gyo Kai).

砂糖	ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ	市中出来値 キユーバ 1月積	定期 (一封度)						取引出来高 (単位トン)	ロ ン ド ン	粗糖(甘蔗糖96% c. i. f.) 買手値(ロンドン又はリヴァプール)			ス ラ バ ヤ	轉賣市場最高買値(白双百基瓦建)				
		賣手 0%	1月限	3月限	5月限	7月限	9月限	12月限	3月限		5月限	8月限	直渡		12月渡	1月渡	2月渡	3月渡	
		同 0%	仙	仙	仙	仙	仙	仙	志片		志片	志片	肩		肩	肩	肩	肩	
		同 0%	0.67	0.65	0.70	0.74	0.78	0.83	4.11%		5.00%	5.03%	5.75		5.75	5.75	5.80	5.80	
		同 0%	0.67	0.67	0.71	0.75	0.79	0.83	4.10%		4.11%	5.02%	5.75		5.75	5.75	5.80	5.80	
		同 0%	0.67	0.65	0.69	0.74	0.77	0.82	4.11%		5.00%	5.03%	5.75		5.75	5.75	5.80	5.80	
		同 0%	0.67	0.65	0.71	0.75	0.78	0.82	4.10%		4.11%	5.02%	5.75		5.75	5.75	5.80	5.80	

相場	東 京	分賣糖保稅品(百斤建)						大 阪	分賣糖保稅品(百斤建)						麻 袋 相 場	カ ル カ ツ タ	本船直渡(百枚建)	ヘ シ ア ン	シ ュ ー ト △印名目		
		1月限	2月限	3月限	4月限	5月限	6月限		1月限	2月限	3月限	4月限	5月限	6月限						直渡	2月渡
		圓	圓	圓	圓	圓	圓		圓	圓	圓	圓	圓	圓						留比	留比
		13.52	13.54	—	12.13	12.25	12.30		13.43	13.51	—	12.12	12.20	12.29						24%	27
		—	—	—	12.05	12.13	12.16		13.30	13.36	—	11.98	12.08	12.15						24%	27
		13.45	13.50	—	12.06	12.16	12.22		13.37	13.45	—	12.04	12.16	12.24						24	26%
		13.55	13.55	—	12.09	12.20	12.29		13.43	13.53	—	—	—	12.29						23%	26%

油脂相場	ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ	棉實油(一封度)	現物、關稅濟(亞麻仁油及菜種油は一ガロン、其他一封度に付)		ロ ン ド ン	亞麻仁油、ロンドン渡 112封度		ト リ ヤ 菜 種 油 c. i. f. ロ ン ド ン、1、2 月 積 産 地 積					
		3月限	5月限	1月18日(水)		14月限	5,8月限		賣手	賣手	賣手	賣手	
		仙	仙	大豆油(粗製, 太平洋 岸タンク渡)		4仙	志		志	8%	8%	8%	11%
		3.70	3.80	亞麻仁油(粗製, 紐青 タンク渡)		47仙	落花生油(東洋品 粗製同)		8仙	同	同	同	同
		3.73	3.84	菜種油(精製, 樽入 紐青甲板渡)		36仙	椰子油(セイロン 同)		2仙7%	同	同	同	同
		3.73	3.84	棉實油(同上)		3仙%	支那桐油(樽入, 太平 洋岸甲板渡)		4仙3%	同	同	同	同
		3.78	3.90	同上(粗製, 紐青 タンク渡)		3仙	荏油(同上)		4仙%	同	同	同	同

小麦	シ カ ゴ	一アツセル建			5月限		取 引 出 來 高 萬 ア ツ セ ル	シ ヤ ト ル	一アツセル建		ポ ー ト ラ ン ド	一アツセル建		ウ イ ニ ベ ツ ゲ	一アツセル建		
		5月限	7月限	9月限	高値	安値			5月限	7月限		5月限	7月限		10月限		
		仙	仙	仙	仙	仙			仙	仙		仙	仙		仙		
		46%	47	47%	48%	46%			46	46		46	46%		45%	45%	47%
		47%	47%	48%	47%	46%			46%	46%		46	46%		45%	46%	47%
		46%	46%	47%	47%	46%			46	46		46	46%		45%	46%	47%
		47%	47%	48%	48%	47%			46%	46%		46	46%		46%	47%	49

相場	リ ヴ ア プ リ ル	百封度建				メ ル ポ ル ン (ウイ キ ク ト 品)	本船1 月渡新 産	巨 濛 小 麥 粉	四十九封度建		東 京 期 米	一石建			大 阪 期 米	一石建		
		3月限	3月限	5月限	7月限				1月限	3月限		1月限	2月限	3月限		1月限	2月限	3月限
		片	片	片	片				兩	兩		圓	圓	圓		圓	圓	圓
		54%	57%	58%	59%				1.9.525	1.8.300		24.54	25.00	25.51		24.69	25.02	25.55
		53%	57%	57%	58%				1.9.625	1.8.425		24.31	24.80	25.29		24.49	24.81	25.31
		53%	57%	57%	58%				1.9.875	1.8.550		24.11	24.58	25.06		24.24	24.61	25.11
		54	58	58%	59%				1.9.725	1.8.300		24.32	24.72	25.31		24.48	24.85	25.29

ゴム相場	ロ ン ド ン	シ ー ト (一封度)				ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ	シ ー ト △印名目		シ ン ガ ポ ー ル	シ ー ト (一封度)		競 賣 相 場 最 高 値
		(現物)		(4,5,6月渡)			現物	4,5,6月		現物	4,5,6月	
		買手	賣手	買手	賣手		仙	仙		仙	仙	
		2%	2%	2%	2%		2%	3%		6%	7%	
		2%	2%	2%	2%		2%	2%		6%	6%	
		2%	2%	2%	2%		2%	3%		6%	6%	
		2%	2%	2%	2%		2%	3%		6%	6%	

滿洲特産物相場	大 連 豆 粕	十四日限、一枚銀建						大 連 豆	月末限、百斤銀建					4月限		
		現物	2月限	3月限	4月限	5月限	6月限		現物	1月限	2月限	3月限	4月限	5月限	高値	安値
		圓	圓	圓	圓	圓	圓		圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓
		1.685	1.690	1.700	1.700	—	—		5.10	5.08	5.13	5.18	5.22	5.28	5.29	5.21
		1.710	—	1.725	1.735	—	—		5.18	5.16	5.20	5.25	5.30	5.35	5.30	5.24
		—	1.710	1.720	1.730	—	—		5.15	5.12	5.18	5.24	5.28	5.31	5.19	5.17
		1.710	—	1.725	1.730	—	—		5.17	5.14	5.20	5.25	5.31	5.34	5.35	5.29

相場	大 連 豆 油	十四日限、百斤銀建						大 連 銀 票 相 場	日本金百圓建		大 連 特 産 賣 買 出 來 高	定 期			ハ ル ビ ン 豆 粕 相 場	現 物 百 斤 建 f.o.b.大 連 2月 渡		
		現物	2月限	3月限	4月限	5月限	6月限		1月限	2月限		豆油	大豆	豆粕				
		圓	圓	圓	圓	圓	圓		圓	圓		百斤	車	千枚				
		—	14.30	—	—	—	—		—	100.60		101.10	99.65	60			293	42
		14.50	14.40	—	—	—	—		—	99.70		100.90	99.65	25			281	40
		14.50	—	—	—	—	—		—	100.25		100.65	99.95	50			310	123
		14.55	—	14.40	—	—	—		—	99.40		100.35	99.10	30			333	35

金融統計	日 本 銀 行 帳 尻	翌日繰越(單位千圓)				手 形 交 換 高 (千 圓 位)	東 京		大 阪	
		兌換券發行高	正貨準備	預金	貸出高		交換高	交換尻	交換高	交換尻
		1,112,951	425,068	147,399	683,980		98,600	20,193	67,277	8,964
		1,109,082	425,068	149,834	684,529		91,165	6,720	57,022	8,420
		1,109,356	425,068	148,182	684,263		104,512	15,349	52,709	5,406
		1,116,731	425,068	144,238	684,569		132,755	7,234	52,068	6,840
		1,137,304	425,068	133,728	688,503		69,316	9,594	59,970	7,299

國際金融・金銀塊及重要商品週統計

昭和八年一月十五日(廿一日發售)

アメリカ 通貨及金融状態 (聯邦準備銀行並に關係諸統計による。1月18日現在、單位百萬ドル)

フランス 銀行週報 (1月13日現在、單位百萬フラン)

イギリス 金塊輸出入額 (1月19日迄累計)

アメリカ 棉花統計 (ニュー・ヨーク棉花取引所發表、1月20日迄今季累計、單位千俵)

キューバ 砂糖統計 (ウイレット・グレー商會、12月31日調再録、單位トン)

アメリカ 聯邦準備週報 (1月18日現在、單位百萬ドル)

ライヒス 銀行週報 (1月15日現在、單位百萬マルク)

インド政府 通貨週報 (1月15日現在、單位十萬ルピー)

世界紡績米棉引取高 (ニュー・オリンズ棉花取引所、1月20日發表、單位千俵)

イギリス ゴム統計 (ロンドン・ゴム協會發表、昨年一月以降累計、單位トン)

イングラント 銀行週報 (1月18日現在、單位千ポンド)

日本銀行週報 (日本銀行 1月17日發表、單位千圓)

上海銀在荷高 (1月19日現在)

エジプト 棉花統計 (アレキサンドリア棉花取引所發表、1月19日迄今季累計、單位千カスター)

大連埠頭 特産物荷動統計 (1月11-15日・單位キロトン)

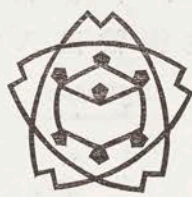
イングラント 銀行週報 (1月18日現在、單位千ポンド)

日本銀行週報 (日本銀行 1月17日發表、單位千圓)

上海銀輸出入額 (1月19日迄一週間)

ボンベイ 棉花統計 (ボンベイ棉花取引所發表、昨年9月1日より1月19日迄累計、單位千俵)

大豆 入庫高 (奥地より到着)



圓萬百一千二金本資

社會式株絲絹造人國帝

目丁二島ノ中區北市阪大 社本

町山館市澤米縣形山 場工澤米
 町田千市島廣 場工島廣
 村布里麻郡珂玖縣口山 場工國岩

○本誌定價 一ヶ月分金一圓、一ヶ年分金十圓

廣告料金

普通面一行一圓、
記事面一行一圓五十錢

發行所

東京市京橋區銀座西八丁目九番地

新聞聯合社

電話銀座代表番號(07)三二二一(番5)
振替貯金口座東京三二〇三九番

編輯發行兼印刷人 大川幸之助

編局濟經社合聯聞新

發兌

金紙か

東京市京橋區銀座西八丁目九番地
振替東京三二〇三九番
大阪市中ノ島二丁目二番
振替大阪六八〇〇二五番

新聞聯合社

容 内

- 一、三つの事實
- 二、打ちのめされた圓
- 三、輸出は増えたが
- 四、物價は騰る
- 五、「インフレ景氣」とは
- 六、損する人、得する人
- 七、ドイツの通貨破滅
- 八、フランスの新平價
- 九、圓を護れ!

忽ち 四版 出づ

我が國にとり刻下の緊急問題たる「貨幣價值の動搖」に就て平易且つ明解に分析、解説を試みたものである！
黄金狂時代出現の今日、何人も本書を手にして「貨幣價值の動搖」、「インフレ景氣」の行手を知れ！

編局濟經社合聯聞新

世界は何處へ

版期半上年八和昭

最新刊

定價各五十錢
郵 税 二 錢

每期發行毎に賣切れ又賣切れの好評！
最新の統計と圖表を以て世界經濟の大勢を簡明に解説し、本年上半期の世界景氣を打診豫想した定期刊行物！
本書によつて混沌を極めつゝある今日の世界經濟の實相を知れ！

容 内

- 一、一九三三年の問題
- 二、爲替と金銀
- 三、「インフレ」と財政
- 四、景氣の指針
- 五、産業の實狀
- 六、相場と物價
- 七、貿易と國際收支

三版 出來

昭和八年一月廿六日發行

國際經濟週報

昭和七年 自六月廿六日 第十三卷 自第二十七號 至十二月廿四日 至第五十二號

昭和七年 下半年分

總索引目錄

凡例
△内容区分 政治、解説、經濟、市況、統計、廣告に大別す。
△索引文句と週報當該記事の標題或は小見出文句とは必ずしも一致せず。
△頁數は一ヶ年の通し頁數による。
△有用記事にして國際政治日誌或は國際經濟日誌のみに掲載したるものあるも、これらは本案索引に記載してゐない。

政治

- ▲一般
▲一 會議の成績
▲二 商務長官更迭
▲三 米佛通商條約締結
▲四 失業救濟土木事業
▲五 禁酒法改正問題
▲六 兩院の新政野
▲七 州知事選舉結果
▲八 麥酒法改正案
▲九 共和黨政權最終議會開會
▲十 フーヴァー氏の議會教書
▲十一 比島獨立法案
▲十二 ▲大統領選舉
▲十三 選舉の方法
▲十四 フーヴァー氏受諾演説
▲十五 世界不景氣とアメリカ關稅政策
▲十六 選舉と經濟界影響
▲十七 共和黨財政政策
▲十八 選舉演說
▲十九 移民政策の成功
▲二十 戰債帳消反對
▲二十一 フォード社フ氏推薦
▲二十二 選舉戰終了
▲二十三 開票の結果
▲二十四 ルーズヴェルト氏選舉後の第一聲
▲二十五 公式得票數

- ▲財政問題
▲一 金本位停止は抜打的にやれぬ
▲二 國庫節約案裁可
▲三 國庫設計案裁可
▲四 失業救濟案兩院通過
▲五 恩給軍に歸國旅費施與
▲六 グラス金融法案否決
▲七 家屋金融銀行設定案裁可
▲八 國庫收入減少
▲九 豫算案緊縮編成を要請
▲十 共和黨財政政策
▲十一 全關稅率の再調査
▲十二 國費節約運動
▲十三 ダムビンゲ稅當否調査
▲十四 販賣稅創設か
▲十五 ▲其他
▲十六 日本製ゴム靴輸入阻止運動
▲十七 農民休日運動
▲十八 通貨局長ホル氏辭職
▲十九 メーン州知事選舉
▲二十 聯邦農事局廢止か
▲二十一 ▲對外問題
▲二十二 對愛特別關稅
▲二十三 英佛共同で諸國協定案提議
▲二十四 英愛間の葛藤
▲二十五 對愛土地年賦金の内容
▲二十六 保守黨右翼日本を支持
▲二十七 英愛會議再開

- ▲其他歐洲
▲一 新豫算案
▲二 對米債務支拂延期
▲三 對ハンガリー通商條約
▲四 ベルギーは英佛提案に参加
▲五 白和關稅協定調印
▲六 ラトヴィヤ(商議)
▲七 トルコ輸入制限改正
▲八 ポルトガル國庫の餘裕
▲九 農業保護政策
▲十 一週四十時間制採用
▲十一 社會黨の統制經濟提唱
▲十二 農業モラ實施
▲十三 對米戰債支拂不能
▲十四 佛獨通商條約廢棄か
▲十五 英獨通商條約交渉開始
▲十六 南阿對獨通商條約改訂
▲十七 失業者救濟
▲十八 ▲其他
▲十九 モロツフ氏農政を説く
▲二十 手工業獎勵新法令
▲二十一 ネオ・ネツプ發令
▲二十二 投機及び買占取締
▲二十三 對ラトヴィヤ通商協定商議
▲二十四 英露通商條約廢棄
▲二十五 中央執行委員會々々
▲二十六 佛露通商條約開始か
▲二十七 佛露不可侵條約
▲二十八 穀物自由販賣許可
▲二十九 英露條約交渉
▲三十 衣食配給制度移管
▲三十一 露支通商條約近況交渉
▲三十二 ▲イルランド
▲三十三 對外貿易獨立實現計畫
▲三十四 英愛間の葛藤
▲三十五 反英熱高潮に達す
▲三十六 土地年賦金支拂は不當
▲三十七 忠誠宣誓廢止法案確認
▲三十八 關稅法案上院を通過
▲三十九 總督の新關稅法承認
▲四十 對英報復關稅實施
▲四十一 英愛會議再開
▲四十二 ▲イタリー
▲四十三 歐洲協定英佛提議に参加
▲四十四 內閣改組
▲四十五 農業保護策
▲四十六 關稅引下げ勸奨
▲四十七 ▲オーストリー
▲四十八 ローザンヌ議定書批准案通過

- ▲支那
▲一 元本位制實施か
▲二 滿洲海關接收のため支拂不能
▲三 領事查證制度
▲四 阿片公賣計畫
▲五 海關稅大增徴
▲六 英紙支那財政を樂觀
▲七 在滿海關閉鎖宣言
▲八 海關問題で日本へ抗議
▲九 滿支關稅戰展開
▲十 外米輸入稅徵收
▲十一 三中全会開會
▲十二 露支通商條約交渉再開せむ
▲十三 露支通商條約近況批准か
▲十四 ▲一般
▲十五 舊貨幣整理辦法
▲十六 稅制中央集權化
▲十七 郵政事務開始
▲十八 黑龍江省防務令發布
▲十九 日滿議定書調印
▲二十 在外領事館設置宣言
▲二十一 ハルビン在住ポーラン人の滿洲國承認請願
▲二十二 豫算成立す
▲二十三 土地所有制限
▲二十四 ▲關稅及海關
▲二十五 大連海關事務開始告示

- ▲其他
▲一 新海關法制定せん
▲二 支那品に關稅徵收
▲三 大連海關關稅增收
▲四 山海關に海關新設
▲五 奉天に保稅倉庫計畫
▲六 支那を純然たる外國と看做す旨聲明す
▲七 大連海關協定繼承
▲八 各地に新稅關設置
▲九 大連稅關の告示
▲十 舊大連海關員退去せん
▲十一 日本品進出容易となる
▲十二 支那海關閉鎖の宣言
▲十三 舊大連海關問題
▲十四 大連海關接收通告
▲十五 滿支關稅戰展開
▲十六 滿支關稅聯合會の要請
▲十七 關稅收入好成績
▲十八 ▲其他
▲十九 郵券新發行
▲二十 門戶開放工業令發布せん
▲二十一 資本逃避防止法に件ふ大藏省令公布
▲二十二 日本對佛印通商條約實施
▲二十三 滿洲承認と海外反響
▲二十四 日滿議定書調印
▲二十五 ▲其 他
▲二十六 佛印支那と日本との通商條約
▲二十七 南阿對獨通商條約改訂
▲二十八 英波石油紛争
▲二十九 比島獨立法案
▲三十 關印砂糖販賣組合

- ▲解 說
▲一 一般
▲二 同 國費節約運動
▲三 英印通商協定
▲四 イギリス國際收支
▲五 ▲産業
▲六 ドイツ合同製鐵會社
▲七 アメリカ物資消費の消長
▲八 同 産業巨頭會議
▲九 原料相場暴落(と)世界工業生産高
▲十 ウラルの工業化
▲十一 イタリアの農業保護策
▲十二 サヴェエトの石油
▲十三 世界銅需給狀態
▲十四 ▲會 社
▲十五 アメリカ諸會社業績
▲十六 イギリス諸會社營業狀態
▲十七 社重役の俸給調
▲十八 同 東部鐵道の合同
▲十九 ▲貿易
▲二十 物々交換時代再來
▲二十一 サヴェエト貿易決濟困難
▲二十二 ドイツの極東貿易
▲二十三 上半期支那對外貿易
▲二十四 支那貿易の地位
▲二十五 貿易上よりみた露露の經濟的接近
▲二十六 ▲其 他
▲二十七 ジブラルタルにダムを造る話
▲二十八 シカゴ取引所營業停止問題
▲二十九 ゴム相場上向く

